

# 清新中学校だより 清風

令和2年6月1日  
第171号

## 思いを伝えるために

校長 江戸谷 智章

これまで経験したことの無い長い臨時休校期間を経て、本日やっと学校が再開されました。国が示した「新たな生活様式」しかり、学校での生活もこれまでとすべて同様というわけにはいなくなるかと思われまふ。新たな生活スタイルのみならず、何を大事にし、どういったことを優先すべきかといった価値観をあらためて再構築していかねばなりません。そのためには、きっと様々な苦勞や我慢が強いられることと思ひます。しかし、不平不満や愚痴を並べたところで前には進めません。この難局を次のステップへの手がかりにできるよう、あらゆる知識を総動員し、世代を問わず知恵を出し合っただけだと考えています。生徒の皆さんはもちろんのこと、保護者の皆様におかれましてもこれまでと同様、学校教育環境の正常化に向けて、お力添えをいただけたらと願っております。



さて、この休業期間、おそらく生徒たちは、これまでの日常とは比較にならないくらい多くの時間をスマホやPCに費やしたのではないかと思います。以前からスマホ依存症といった問題が新たな社会問題として取りざたされていますが、先日、最近の若者たちが頻りに利用するSNSの中で、彼らが使う日本語が大きく変化してきているといった記事を目にしました。はたして皆さんは、以下の「若者言葉」をいくつご存知でしょうか。

- |             |        |       |
|-------------|--------|-------|
| ① うP・うぷ     | ② フロリダ | ③ じわる |
| ④ KP (ケーピー) | ⑤ おけまる | ⑥ とりま |



ちなみに、2019年にSNSの中で最もつぶやかれた若者言葉は『り』の一語で、これは、「了解」、「わかった」という意味をもつのだそうです。具体的には、相手から何かしらの依頼やお願いをされた時に、「了解」という言葉を使う代わりに、頭の文字の「り」だけを使って意思疎通を図るといったものです。一時期は「りょ」が使われていたそうですが、さらに短縮されてこの一語になったといひます。

その他にも、「おはよう」と投げかけた自分のコメントに対して、相手が「おはよう」とコメントを返してくれた時に、「おはようと返してくれてありがとう」と返信する代わりに「おはあり」といふ言葉が使われるなど、頭が固くなった私には、もはや暗号ともいえるようなやりとりです。

言葉のもつ大きな目的の一つは、情報を正確に伝達することだと思ひます。多くを語らなくても意思の伝達ができるという意味では、こういった若者言葉はとても便利な表現方法なのかも知れませんが、しかし、人の感情や思いというのは、その時々で、水彩絵の具の色のように常に濃淡があつて、「○」

や「×」といった割り切れるものばかりではありません。事実、「自分が思っていたほど、相手は考えてくれてはいなかった」、「そんなつもりで言ったんじゃないのに・・・」など、コミュニケーションの不十分さから様々なトラブルを経験した人も少なくないと思ひます。



たとえ親子であっても、物事の感じ方や表現力は千差万別です。言葉を使って理解し合うということは、とても重要である反面、実はとても難しいことだと思ひます。それだからこそ、様々な価値観がうごめく時代に生きる私たちは、必要とあらば相手と顔をつき合わせ、時には時間をかけて互いに理解し合う努力をし続けていかねばならないように思ひます。

日本には、一言で「雨」といっても、よく知られている「ゲリラ雷雨」といふ表現をはじめ、「飛雨(ひう)」、「甘雨(かんう)」、「五月雨(さみだれ)」など、なんと400以上もの表現があるのをご存知でしょうか。これはまさに、私たちがもつ豊かな感性がなせる表現法なんだと思ひます。自分の思いを正しく、丁寧に、誤解のないよう伝えていくために、これからの自分自身の言葉を鍛えていかねばならないと思ひている今日この頃です。

## 「中学校生活で頑張ること」



学習支援部 鈴木 章友

中学校は「子どもが大人になる場所である」と考えています。点数になる勉強も、点数にならない勉強もするところだと思います。できないことができるようになる、わからないところがわかるようになる、できないことを繰り返し練習する、努力する場所とも言えるのではないのでしょうか。



思い返してみると、私も失敗の連続だったように思えます。初めて自転車の補助輪を外して乗った時、何度も転んで悔しい思いをしたことを覚えています。サッカーのリフティングがうまくできなかったとき、留学中に英語で自分の伝えたいことが相手に伝わらなかったとき、ビーチバレーの試合で大きなケガをしてしまったときなど、数えたらきりがありません。

ところがこれらの失敗を振り返ってみると、ある共通する点が見つかりました。それは『夢中』です。自転車に補助輪なしで乗れるようになりたい、リフティングが上手になりたい、英語でコミュニケーションを取りたい、ビーチバレーの選手になりたいなど、どの分野でも夢中になっていました。失敗を恐れずに何度も立ち上がれる、努力できることが「心が大人になる」、すなわち「中学校生活で頑張ること」ではないかと考えます。

学校が本格的にスタートしたら、まず夢中になれる何かを探してほしいと思います。そのために大事なことは「目標を立てる」ことです。〇〇高校へ進学したい、5教科で〇〇点を取りたいなど、具体的な目標を掲げてみましょう。授業で行ったことをすべて理解するためには授業のまとめや振り返りが大事です。家庭学習を日々行うことで、徐々に理解できるようになり、『夢中』になっていくと思います。良いスタートが切れるように、今できることを頑張っていきましょう。

## 6月の主な日程

下記の日程につきましては、今後変更が予想されます。ご了承ください。

### 6月

1日(月) 学校再開(分散登校) 心音・心電図検査(延期)	17日(水)～19日(金) 定期試験(延期)
3日(水)～5日(金) 修学旅行(未定)	19日(金) ときわぎ交流会(中止)
10日(水) 内科検診(延期) PTA実行委員会	29日(月) 諸費集金日① 3年進路学習会(未定) 3年進路保護者会(未定)
13日(土) カプセル開封式(延期)	30日(火) 生徒会委員会(未定)
15日(月) 通常登校再開・給食開始	



### 新型コロナウイルス感染症に対する学校再開に向けたガイドライン(抜粋)

#### ①登校のありかた

6月1日～12日 分散登校(クラスを半分に分け、午前・午後に分けての半日登校)

6月15日～ 通常登校再開・給食再開

※1学期: 8月7日まで(夏休みは8月8日～8月23日)

※2学期: 8月24日～12月25日(冬休みは12月26日～令和3年1月5日まで)

※3学期: 1月6日～3月25日(3月26日から学年末休業)



#### ②保健管理に関わること

・毎日の朝の会で「健康観察票」を用いて、登校前の体温、健康状況の確認をします。

・風邪等の症状がある場合は自宅で休養してください(欠席日数には含みません)。

・学校では可能な限り、3密状態を避け、十分な換気、手洗いを行います。

・学校は1日1回、教職員の手で教室・トイレ等の消毒を行います。

・これまで同様、生徒の人権や個人情報等に配慮し、特別な配慮が必要な生徒には支援をします。



※詳細につきましては「相模原市版 新しい学校生活様式(資料1)」をご参照ください。